

発行 医療法人社団
すんとおる

沼津市高沢町6-1
TEL ☎ 055-922-8855
URL ☎ <http://www.sunto-seikei.jp>

みなさんこんにちは。あつという間に5月も半ばに入りました。今月号ではみなさんも気がなつていられると思います。放射線について、レントゲン技師の山口さんにお話ししていきましょう。

放射線防護 山口

駿東新聞をご覧のみなさんこんにちは。放射線技師の山口です。震災の被害や福島第1原子力発電所の放射能漏れで心配されている方も多いと思います。今日は放射線防護について少しお話させていただきます。

放射線の利用は学術の進歩や産業の発展などに役立つ反面、人体に対し放射線障害を引起す危険(リスク)を含んでいます。この危険を避けるためには放射線の利用を完全に断念するのは良いですが、私達の社会は常に発展を望んでおり、放射線の利用から得られる利益を考えると、放射線障害の発生を最小限に抑えて利用を効率的に進めていく、これが放射線防護の基本的な考え方です。

放射線防護の3原則

- ① 行為の正当化 — 放射線被曝をともなういかなる行為も、その善入が主味で、その便益を生むものでなければ、採用してはならない。
- ② 放射線防護の最適化 — 正当化した行為でも、その被曝は経済的および社会的要因を考慮し、可能な限り達成できる限り低く保たなければならない。
- ③ 個人線量の限度 — いかなる被曝によっても個人が受ける線量に於いて、超えてはならない年間線量限度を設ける。

日本でも放射線障害の防止に関する法律が作られ放射線を取り扱う事業所では、法定基準を超えざる恐れのある場所を「管理区域」として線量を定めています。駿東整形外科医院では、レントゲン室になります。法定基準は $1.3 \text{ mSv} / 3 \text{ 月}$ です。今年の2月に測定した値は $0.05 \text{ mSv} / \text{月}$ で安全が確認されています。このSv(シーベルト)とは、人体が受けた影響を表す単位で、Bq(ベクレル)とは、空気中や土壌などの 1 cm^3 の放射能の量を表す単位でも、Bq(ベクレル)は放射能の量で、その種類により、人体への影響は変わってきます。

表は人体への影響を表したものです。参考にご覧ください。

また今後は自然被曝

や医療被曝についてもお話しさせていただきます。お待ちしております。

